

議案第7号土地改良事業の施行についてから議案第28号平成17年度陸前高田市水道事業会計予算まで、執行前提案1件、条例案12件、予算案9件について賛成の立場から討論を行います。

今期定例会で審議された議案はいずれも市民生活に直結したものであり、昨年決定された行財政改革プログラムに沿って具体的施策運営を進めようとするものであり、市民生活に不可避のものであります。

特に近年の誘致企業の撤退や廃業などによって、市内の雇用の場が失われていることから、少しでも雇用の場の確保に端緒を付けようとして提出された、陸前高田市企業立地奨励条例の一部を改正する条例など評価すべきものと考えております。一般会計予算についても、地方財政を取り巻く環境が厳しい中での予算案であり工夫されたものと感じます。予算審議でも議論をいたしました。その財源確保のあり方について一考を求めたところ、18年度以降において市債管理基金からの繰り入れについて一定の方向が示されたことから、その遂行についての対応を望みます。

本定例会で審議の中心を占めた陸前高田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例と平成17年度国民健康保険特別会計予算については、市民生活に直結するものであり、国保制度は市民の45.7パーセントが加入し、日々の生活に欠かせないものであることから、制度の安定的な運営を第一義に考え議論してきたところであります。審議の過程で明らかになったように本年度末の基金残高予測は2億8千万円ほどとなる見込みであり、来年度予算で増収を見込んでいる国保税額は2億5千2百万円となっています。このことから勘案すると国保税の増額なくしては国保財政の安定的運営どころか、来年度における不測の自体にも窮する状況であると推測いたします。市内経済の長引く低迷による市民生活を考えるとき、大幅な増税が及ぼす影響を考え通増的な税負担のありかたも提言したところであります。

しかし、国保連の国保安定化基金制度もなくなった今、国保財政の不測の事態により

7番 福田利喜

一般会計からの財源確保を行うことは、自主財源での手当てということとなり、大きく依存財源に頼る本市の財政構造から鑑み、投資的予算等への影響が大きいことなどから市内経済・市民生活への影響がより一層大きくなることが予測されます。このことから賛成すべきものと判断した次第であります。審議の過程でも述べましたが、国保会計のみに主眼を置いた考え方だけでなく、市内経済や行財政全般に亘った考え方・ものの見方をした運営に努めて頂きたいと強く希望します。

特に、予算執行及び市政の運営に当たっては、今回のように前期高齢者医療制度の変更等の要因はありましたが、短期間での大幅な国保税の変動や市民負担を来たすことのないよう、中里市長にはポピュリズムを主眼とした政策から脱却し、広い視野を持った行政運営を望むものです。

以上で私の賛成討論を終わります。議員各位の賛同をお願いいたします。